



## ●歴史とふれあいの拠点

### — 重要文化財中家住宅と煉瓦館 —

#### ●重要文化財中家住宅

中家住宅は熊取町五門ごもんに所在し、江戸時代に岸和田藩の七人庄屋を勤めた中家の建物です。昭和39年に国の重要文化財に指定され、平成6年には町の所有となり、現在、週4日一般公開しています。入母屋造り・茅葺きの主屋のほか、邸内には表門・唐門からもん、土蔵が残っています。

主屋は、江戸時代初期の建物といわれ、正面の妻面には、「右三ツ巴」の中家の大きな家紋があり、建物の存在感を示しています。また、独立性の強い土間は近畿地方でも最大規模のもので、寺院の庫裏や武家の台所を思わせます。江戸時代後期の古図によると、屋敷構えは今よりもはるかに大きく、式台玄関のつく客殿や長屋門などの付属屋が建ち、背後に堀を廻らせた大規模なものでした。

#### ●煉瓦館

中家住宅に隣接して、泉州機業界をリードしてきた昭和初期に建設された綿布工場（煉瓦造）があります。熊取町は、明治末期以降、繊維産業のまちとして発展

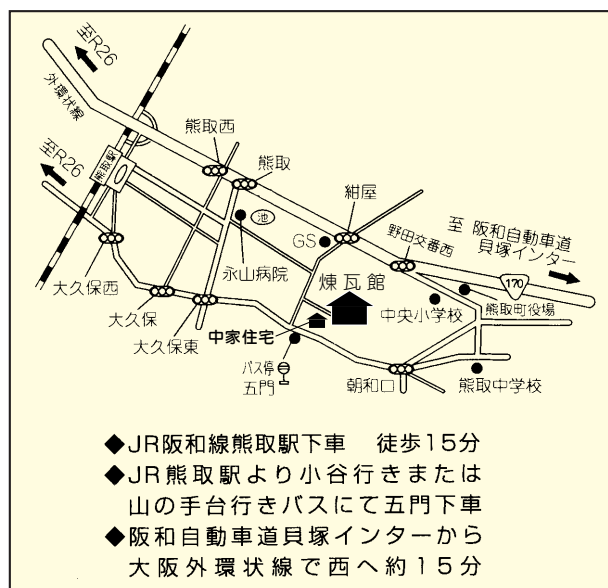


中家住宅



煉瓦館

してきたことから、この地域を「歴史とふれあいの拠点」として位置づけ、平成14年から整備してきました。この11月3日には、綿布工場を活用した煉瓦館がオープンします。この施設は、生涯学習の拠点であり、芸術文化の発表や歴史展示などの機能があるほか、すべての住民が憩い、集い、学べる交流の場としての利用が期待されています。中家住宅周辺は、こうした貴重な建造物や古い町並みが今も残る歴史に彩られた観光スポットです。一度、歴史薫る熊取を訪れてみませんか。



#### ▼お問い合わせ先▼

煉瓦館（熊取町生涯学習推進課）

TEL 0724-53-0391